

孝本真二さんが農林水産省生産局長賞を受賞 - 第5回全国自給飼料生産コンクール -

平成31年2月20日、（一社）日本草地畜産種子協会が主催する「第5回全国自給飼料生産コンクール賞状授与式」が開催され、吉備中央町の孝本真二氏が農林水産省生産局長賞を受賞されました。孝本氏は中国四国酪農大学を卒業後、地元の畜産関連会社を経て就農されました。就農後から計画的に各種事業を活用することで牛舎や飼料生産基盤を整備され、現在、繁殖牛51頭、飼料作物760aまで規模を拡大し、水田地帯における和牛繁殖専門生産を家族経営で確立されています。

購入飼料価格の変動に左右されない安定した経営を目指しており、自給飼料生産や放牧地の活用により、飼料コストの低減を図っています。

審査では次の点が評価され受賞となりました。

- ①飼養規模と労働面のバランスが適正な、無理のない余裕をもった経営内容である。
- ②借地依存という利用上の制約があるものの、イタリアンライグラスは4番草まで活用し、一部にミレットを作付するなど最大限の土地利用を行っている。
- ③年齢も若く地域の中核的存在であり今後も期待できる。

